

大分教育事務所訪問②-10 (計83)

由布市立由布院小学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「確かな知識・技能をもとに自ら考え表現し主体的に活動する ゆふっ子の育成」を達成するために、主任を中心とした4つのチームがそれぞれ検証・改善を行いながら経営を行っています。それぞれのチームが目的に応じて取り組まれています。全てが子ども理解と子どもが中心となる活動の方向に進んでいると思えました。それは、学校として育成を目指す資質・能力を「コミュニケーション力(相互活用力・協働性)と絞り込んだことで、みんなの目指す方向が定まったからだと思えました。

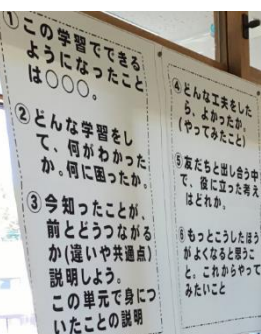
授業から学ぶ

2年国語では子どもたちは思考ツールを使用することで、全員が参加できていました。また、大塚先生の個に応じた助言も見事でした。3年算数では自然と学び合う姿が印象的でした。5年社会は決断を迫るような場を設け、子ども達の発言を中心に授業を組み立てていました。どの授業も、指導案に「単元の目標」が明記されているので、本時は単元のどの位置にあり、そのため本時では何をねらうのか理解できました。さらに、座席表も準備されていたので、子ども達の動きがよくわかり助かりました。

本校では、ペア学習を複数回取り入れるようにしているので、どの授業にもメリハリがあり、子ども達も安心して参加していました。そこにはペア学習の目的が明確となっているので、本校が目指す「聞く力・話す力」につながっています。

また、「振り返り」を中心に研修をすすめており、各学年における

「振り返りのポイント」を明確にしています。今度は、子ども達がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」とすることで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になると思えました。



NO.371 2021年10月 由布市立由布院小学校

納得傾聴

相手の思いを受け止める。共感して、さらに質問をする。お互い納得するから次にすすめる。



NO.372 2021年10月 由布市立由布院小学校

協働深慮

お互い相手の考えを受け止めて、さらに良い方法を考える。だから、みんなが成長する。



NO.373 2021年10月 由布市立由布院小学校

音を消す

考える時、調べる時、頭の中を整理するときは、教室から声が消える。



NO.370 2021年10月 由布市立由布院小学校

積極表現

自分の考えを表現できるのは、しっかり調べて根拠がもてたから。みんなが聴いてくれるから。